

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年6月1日(2006.6.1)

【公表番号】特表2005-537480(P2005-537480A)

【公表日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-048

【出願番号】特願2004-532561(P2004-532561)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/53 M

C 1 2 M 1/00 A

C 1 2 M 1/34 Z

G 0 1 N 37/00 1 0 2

C 1 2 N 15/09 Z N A F

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月31日(2006.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 8】

実施例3

オリゴヌクレオチド誘導体化光ポリマーの製造および評価

(a) 4 - ベンゾイルベンゾイルクロリド (B B A - C 1) の製造

4 - ベンゾイル安息香酸 (B B A) 1.0 kg (4.42 mol) を還流冷却器および吊り攪拌器 (overhead stirrer) を備えた乾燥5リットルモルトンフラスコに加え、続けて塩化チオニル 645 ml (8.84 mol) およびトルエン 725 ml を加えた。次いで、ジメチルホルムアミド 3.5 ml を加え、4時間加熱還流した。冷却後、溶媒を減圧下で除去し、残存塩化チオニルをトルエン 3 × 500 ml を用いて3度の蒸発により除去する。生成物をトルエン/ヘキサン (1/4) から再結晶化し、真空オーブン中での乾燥後、988 g (収率91%) を得た。生成物の融点は、92 ~ 94 であった。80 MHz (¹H NMR (CDCl₃)) での核磁気共鳴 (NMR) 分析は、所望の生成物と一致した：芳香族プロトン 7.20 - 8.25 (m、9H)。化学シフト値はすべて、テトラメチルシラン内部標準から低磁場側の ppm である。例えば実施例3(c)に記載される光活性可能なポリマーの合成に用いられるモノマーの製造における使用のため、または例えば実施例1(a)に記載されるヘテロ二官能性化合物のため、最終化合物を保存した。